

男女共同参画を考える

シンポジウムを開催

市では、9月9日に「男女共同参画を考えるシンポジウム」を開催。会場の中田農村環境改善センターには約200人の市民が参加しました。シンポジウムでは、作家の落合恵子さんが「いま、共生の時々女（ひと）と男（ひと）が共に生きる社会」と題して講演。その後、「男女共同参画の実現に向けて」と題してパネルディスカッションが行われました。パネルディスカッションでは、企業の立場から佐々木聖子さん（追町）、市男女共同参画審議会委員の須藤明美さん（登米町）、布施孝尚市長がそれぞれの視点で男女共同参画のあり方を語りました。



基調講演会で落合恵子さんは「つらい時はつらいと口に出して言うことが大切。従来の男らしさ、女らしさととらわれず、自分自身輝いて生きていきましょう」と強調しました



NPO法人ハーティ仙台の八幡悦子氏（左）をコーディネーターに、それぞれの視点で男女共同参画のあり方が述べられたパネルディスカッション

女性の交流拠点を開設

とめ女性支援センター

東日本大震災で被災し登米市に移住している女性を支援したり市内の女性と交流したりする場として「とめ女性支援センター」が迫町佐沼に開設。9月29日にオープニングセレモニーが開催されました。同センターで行われたオープニングセレモニーには関係者ら約30人が出席。布施孝尚



オープニングセレモニーで紹介される運営スタッフ。支援センターは、国の補助金を活用し佐沼大東地内の旧整骨院を一部改装して開設したものです

食事でいつまでも元気

健康なまちづくり講演会

「登米市健康なまちづくり講演会」が10月1日に開催。会場の南方農村環境改善センターには、市内から約200人が参加しました。講演会は、市民の健康づくりを推進するため、市が毎年開催しているものです。講師は、石巻市出身で人間総合科学大学の熊谷修教授。



老化を遅らせる食生活の重要性を、ユーモアを交えながら話す講師の熊谷氏（右）

地域現場を見る・聴く

移動市長室を実施

市では、市長が総合支所で執務し、市民との意見交換や視察を通じて地域の課題をきめ細かく市政に生かしていくこと「移動市長室」を実施しています。市の広聴事業の一環。今年度の移動市長室は、10月から11月にかけて各総合支所単位で行う予定です。1回目の移動市長室は中田



中田障害者地域活動支援センター「はっつけの家」で作業の様子を視察する布施市長（右から二人目）。この日は一日、中田総合支所を拠点に市民との意見交換や現地視察を行いました

ウォーキングでいい汗

米山で市スポーツまつり

体育の日の10月8日、市スポーツまつりが米山町で開催されました。毎年町域を巡回して開催しているもので、今年が7回目。主会場の平筒沼YOUYOU館には、約320人の市民が集まりました。今年のスポートまつりのテーマはウォーキング。参加者は「森林浴ウォーキング」と「ノルディックウォーキング」の二つのコースに分かれ、平筒沼周辺を歩きました。距離5・6キロのノルディックウォーキングに参加した小野寺つよ子さん（米山町狐崎）は、「いつも見ている風景でも、歩きながら見ると気持ちいいですね」と笑顔で話していました。



秋晴れの下、平筒沼周辺の自然を楽しみながら歩く参加者